

図書だより 12月号

龍北図書室キャラクター
ほんちょう

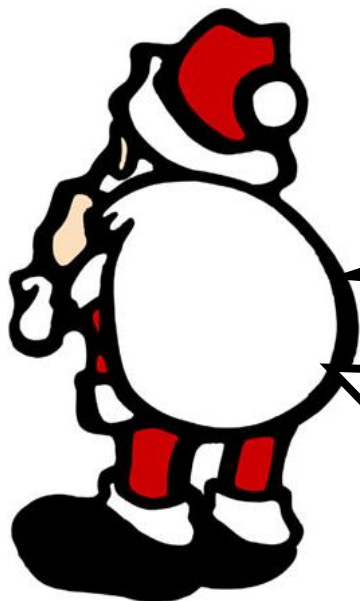
兵庫県立龍野北高等学校図書委員会

映画鑑賞会のお知らせ

日時：12月21日(金) 11:20~13:25
場所：図書室
題名：「君の膵臓を食べたい」
著者：住野よる

映画の詳細は、裏面をみてください。
できるだけ、多くの参加をお願いします。

12月末~1月初めの図書室の利用について



【開室時間】

- 短縮授業中: 12時30分~14時頃
[貸出は13時30分まで]
- 貸出し冊数: 1人3冊まで
貸出期間は2週間です。

冬休み中は閉室します。冬休み前に借りた本の返却期限は、1月10日(木)

12月~1月中旬の開室予定

12月11日(火)~20日(木)
短縮授業 13~14時
12月21日(金) 終業式
映画鑑賞会 11:20~
1月8日(火) 始業式 閉室
9日(水) 課題考査 閉室
1月10日(木) から平常開室します。

図書委員のイチオシの本紹介



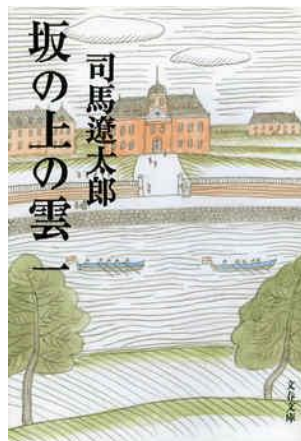
『億男』 川村 元気

この本は借金生活の男に突如、3億円という大金が舞い込むことで、人生が一変すると思いきや、親友にお金を持ち逃げされてしまい・・・とお金を通じて、幸せとは、家族とは、友人とは・・・を問うマネーエンターテインメントです。

色々な人と出会っていくことで、お金を持つことで、人々はどう変わってしまうのかを、お金の価値や意味、正体を教えてください。今の日本人に合った設定になっていますので、話にも入りやすくなっています。

【図書所在番号 913-カ】

3年2組 谷口 聡



『坂の上の雲』 司馬 遼太郎

明治維新を経て近代的な国家の仲間入りを果たした日本は、更に先を行く欧米の各国に追いつこうと必死になっていた。この時代を生きていた秋山好古、秋山真之兄弟と、文学の世界、特に俳句に大きな影響を与えた正岡子規の三人の男たちを中心に昂揚の時代を描いた長編小説です。明治時代の貧しくとも大きな夢を抱いた青年の話で、NHKのドラマにもなっているので、ぜひ読んでみてください。

【図書所在番号 913-シ】

3年4組 柳田 侑輝



映画鑑賞会の映画の紹介

題名：「君の臍臓を食べたい」

著者：住野よる

あらすじ

「君の臍臓を食べたい」……主人公である「僕」が病院で偶然拾った1冊の「共病文庫」というタイトルの文庫本。それは「僕」のクラスメイトである山内桜良（やまうち さくら）が綴っていた、秘密の日記帳であり、彼女の余命が臍臓の病気により、もう長くはないことが記されていた。「僕」はその本の中身を興味本位で覗いたことにより、身内以外で唯一桜良の病気を知る人物となる。

「山内桜良の死ぬ前にやりたいこと」に付き合うことにより、「僕」、桜良という正反対の性格の2人が、互いに自分の欠けている部分を持っているそれぞれに憧れを持ち、次第に心を通わせていきながら成長していく。

残りは図書室で、

年末年始に読みたい本の紹介



賢者の贈り物

著者：オー・ヘンリー

貧しいカップルの話です。

二人は貧乏暮らしでしたが、ジムには唯一自慢の金時計がありました。でも、鎖がありません。デラはそれが残念でした。デラは、ジムのため、クリスマスプレゼントにプラチナ製の鎖を買ってあげようと決めていました。でも、お金がありません。仕方なく、自分の黒髪を売ってお金に替え、プラチナの鎖を買います。仕事から帰ったジムに鎖を差し出して

『あなたの時計とお似合いだと思うわ』

と言います。ジムの目は驚きと悲しみに満ちていました。

『君の黒髪はなくなったのかい！』

ジムはデラの唯一自慢の黒髪のために買った「ベッ甲のクシ」を見せます。それは自分が一番大切にしていた金時計を売って、買ったものでした。ジムは言います。

『僕たちのクリスマスプレゼントはしばらくの間、どこかにしまっておくことにしよう。いまずぐ使うには上等すぎるようだ…』

Maybe the hairs of my head were numbered,

but nobody could ever count my love for you.

「髪の毛の一本一本は数字を付けても数え上げられるかもしれないけれど、

私のあなたへの愛は、誰にも数えられない。」

新着図書を紹介

悲惨伝

著者：西尾 維新

出版社：講談社

あらすじ

全住民失踪事件を調査するべく四国を訪れた、地球撲滅軍第九機動室室長・空々空。利己的で感情を持たない、十三歳の少年にして、英雄。何者かによる四国脱出ゲームに巻き込まれた空々空は、謎めいた年長の魔法少女、杵槻鋼矢と同盟を結び、勝ち抜くために必要な『ルール』を探すことに。不明室が企てる『新兵器』投入が刻一刻と迫り、敏捷な影が二人を追う。

悲鳴から始まり、悲痛な別れを繰り返す英雄譚、第三弾。

久鷹央の推理カルテ

著者：知念実希人 出版社：新潮社（新潮文庫 nex）

あらすじ

統括診断部。大医会総合病院に設立されたこの特別部門には各科で「診断困難」と判断された患者が集められる。河童に会った、と語る少年。人魂を見た、と怯える看護婦。突然赤ちゃんを身籠った、と叫ぶ女子高生。だが、そんな摩訶不思議な「事件」には思いもよらぬ「病」が隠されていた……？

頭脳明晰、博覧強記の天才女医・天久鷹央（あめくたかお）が解き明かす新感覚メディカル・ミステリー。

